



学校だより

令和2年1月10日 上田市立第二中学校 No.11

「新たな時代の分岐点」～赤松小三郎先生の描いた夢：校長講話より～

小三郎先生は、天保2(1831)年、4月4日、上田藩木町の芦田勘兵衛の次男として生まれます。10歳の時、明倫堂に入学し、18歳の時、「世のために働きたい」と江戸に出ます。24歳の時に、上田藩士赤松家の養子に、その後勝海舟の門人となり、25歳の時に長崎の海軍伝習所(幕府の学校で先生はオランダ人、兵学や航海術など、西洋からの新しい学問を直に学ぶことのできる学校)に入ります。

万延元(1860)年、海舟が、咸臨丸でアメリカに渡ることになりましたが、小三郎先生は乗組員に選ばれませんでした。その時の切ない思いを、短歌に表しています。

31歳の時、小三郎先生は松代藩士の娘たかさんと結婚し、このご縁により佐久間象山先生と出会います。小三郎先生は、ますます勉強に励みます。

当時の上田藩は、小三郎先生的能力を評価していた藩主松平忠優公が亡くなり、財政難と藩内の争いが絶えませんでした。「これではいけない」と小三郎先生は、藩に意見書を提出するのですが、小三郎先生の意見は、またしても聞き入れられませんでした。

憤慨した小三郎先生は、藩主忠礼公に江戸で学ぶことを願い出ます。江戸に出た小三郎先生は、毎日横浜に通っては英語や英文法、イギリスの兵法、議会政治を学び、イギリスの「歩兵教本」の翻訳を始めます。学び始めたばかりの英語を使って、これからの時代に役立てられると考えた「兵法」の教科書を翻訳する、すさまじいエネルギーです。

翌年(1866)、翻訳「英国歩兵錬法」が完成します。日本の近代兵法の基盤となるこの本の翻訳で、小三郎先生は一躍有名になります。特に薩摩藩では、小三郎先生の本を軍事訓練の教科書にしました。「気をつけ」「前へ進め」「止まれ」など、現在の運動会などでも使われることばは、この時小三郎先生が翻訳した言葉でもあります。

慶応2(1866)年2月、小三郎先生は、「国を守り、国を変えていくためには、自分の塾を開き、多くの人々に自分の考えを広めること」と考え、京都にイギリス式兵学塾を開きます。薩摩藩、熊本藩、大垣藩、会津藩、新選組…。2年後には、敵味方に分かれてしまう様々な藩から、800人近い塾生が集まってきました。特に戊辰戦争で、敵味方となる薩摩・会津の両藩の藩校に、小三郎先生は新しい時代の在り方を教えていきました。

慶応3(1867)年5月、幕府は、小三郎先生を幕府の学校の先生に迎えようと上田藩に交渉します。しかし上田藩は、藩で必要な人物だからと断り、上田に戻るように命じます。上田に戻ろうとした慶応3年9月3日、小三郎先生は、京都で暗殺されてしまいます。享年37歳でした。藩を中心に政治を考える人々にとっては、小三郎先生の「日本の国」を中心に政治を考えることが理解されなかったのかもしれない。

大正13(1924)年、日本の軍制度の基盤を作ったことが認められ、小三郎先生は官位を授与されます。昭和17(1942)年、東郷平八郎大将が記した碑文が建立され、今も上田公園にて後輩である皆さんを見守っています。

混迷の時代、これからの社会がどうあるべきかを考え、それを迷いなく自分の行動に移す小三郎先生の姿は多くの人々の心に残り、新しい時代を作り、そして新しい日本の基盤を作っていました。

小三郎先生の座右の銘は、「夢叶う」だそうです。小三郎先生の描いた夢は、150年以上たった今、どのくらい叶っているのでしょうか。今、私達も新たな時代の分岐点にいます。これから作る時代をどのような時代にしていくのか、そんなことを問い続け、行動できる後輩でいたいと思います。



「土屋上田市長に、被災者支援募金を寄付」

昨年大きな被害を出した台風 19 号の被災状況について、3 年生が調べてきました。そして、自分達に何かできることはないかと話し合った結果、被災された方々に支援金を送ろうと、昨年 12 月に募金活動をしました。

上田駅前や市役所、さらに A r i o や清明小学校にもご協力をいただきながら募金活動を実施しました。その結果、合計 218,672 円を集めることができました。

昨年 12 月 25 日、市役所にて学年を代表した 4 名が、直接土屋市長に支援募金を手渡すことができました。

これまでご協力いただいた多くの皆様のお力により、被災者支援募金を届けることができました。

ご協力いただきました皆様に心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



「生徒会は 引き継ぎの時」

昨年 12 月 19 日には「生徒総会」が、さらに翌 20 日には新旧役員による「生徒会引き継ぎ会」がありました。

「生徒総会」では、前会長小野澤さんが「皆さんで大切にしてきた生徒会の活動を全員でふり返る大切な機会にしましょう」と語ってくれました。実際の総会も、全校で各委員会の活動を改めて見つめ直す場になりました。

そして「生徒会引き継ぎ会」では、3 年生がこれまで取り組んできた具体的な活動について、活動の意味や方法を伝え、今まで使用してきた大きなファイルを 2 年生に手渡していました。

これまで二中の生徒会を先頭になって走ってきた 3 年生が、2 年生に生徒会のバトンを力強く繋いでくれました。これから 2 年生が何を受け継ぎ、これからどのような活動を展開してくれるのか、大いに期待しています。



☆☆☆今後の予定☆☆☆

- 1 月 13 日 (月) 成人の日
- 15 日 (水) 学校へ行こう週間③～21 日・学年費引落日
- 17 日 (金) 漢字検定③
- 18 日 (土) 東信ブロックアンサンブルコンテスト
- 24 日 (金) 英語検定③
- 25 日 (土) 県アンサンブルコンテスト
- 27 日 (月) 中学校説明会
- 2 月 3 日 (月) 県立前期志願受付～5 日・授業参観・若葉の会 P T A フェスティバル実行委員会⑤
- 4 日 (火) 学校評議員会③学校運営委員会③
- 6 日 (木) P T A 総委員会・評議員会・給食費引落日
- 10 日 (月) 公立前期選抜試験①
- 11 日 (火) 建国記念の日
- 12 日 (水) 公立前期選抜試験②
- 13 日 (木) 3 学期期末テスト
- 14 日 (金) 3 学期期末テスト

連絡

上田市内の中学生が自転車に乗っていて自動車と接触して事故に巻き込まれたり、歩行者に怪我を負わせてしまったりする事故が、最近多く発生しています。くれぐれも事故に遭わないよう、交通安全を心がけてください。なお、令和元年 10 月より、自転車の保険加入が義務化されています。各ご家庭で確認をお願いします。



12 月 19 日 (木) には、山本 斉さんを講師にお招きし、「しめ縄づくり」が行われました。



1 月 7 日 (火) には、3 学期始業式が行われ、各学年代表者が新年の決意を發表してくれました。